2023年(令和5年)度 NISA-IT技術研修ご案内
(2023年4月～2024年3月)

［４月～5月は新入社員研修のため、6月21日からの開講となります］

受講申込みは、常時受け付けていますので期限までにお申込み下さい。

◆（注1）本研修は、厚生労働省『人材開発支援助成金J の対象コースです。助成金を申請して受講される場合は、各講座ごとに研修開始日から起算して1ヶ月前までに労働局へ『訓練実施計画届』を提出する必要があります。
また、研修終了日の翌日から起算して2ヶ月以内に労働局へ「支給申請」を提出する必要があります。

◆（注2）各講座の研修会場は、受講者数等に応じて開講日の約1ヶ月前に確定します。詳細は、「Nlsa長崎」のHPでご案内していますのでご確認下さい。
研修会場（訓練実施場所）が変更となった場合は、研修開始日の前日までに労働局へ「変更届け」の提出が必要です。

◆（注3）厚生労働省「人材開発支援助成金」制度を適用する場合において、「一般訓練コース」、「特定訓練コース(若年人材育成コース」、「特定訓練ース（若年人材育成コース：雇用契約締結後5年以内、35歳未満）」、及び「生産性要件」の適否により助成率が異なります。
①「一般訓練コース」で「生産性要件」の適用なしの場合、②「一般訓練コース」で「生産性要件(6%以上UP)」への適用の場合、③「特定訓練コース」で「生産性要件Iの適合なしの場合、④「特定訓練コース」で「生産性要件(6%以上UP)」へ適合の場合。

2023年4月1日

FLM	㈱富士通ﾗｰﾆﾝｸﾞﾒﾃﾞｨｱ
FSC	㈱福岡ソフトウェアセンター
AES	麻生教育サービス㈱

講座No.	開講予定日(3日間)	分類	講座名	講師会社	講師名	概　要	日数	時間	定員	受講費（注1）※助成金制度を利用された場合の助成金支給額		研修会場	訓練実施場所の決定、開催中止等の連絡（原則、4名以上で開講）
							日	Hr	人	受講費（円）	助成金支給額(注3)[※目安]	(注2)	申込状況・開催状況 訓練実施場所（2023年4月1日時点）
01a	6/21～6/23	開発	ITプロジェクトのテスト設計	AES	山口 新吾	本研修では、ソフトウェアテストを効果的に計画、設計、実施できるように、テスト技法などの知識だけでなく、テスト計画、テスト品質管理まで幅広く学びます。 ◇テスト計画書に記載すべき内容を理解する。 ◇漏れのないテストを行うために、様々なテスト網羅性の指針について理解する。 ◇様々なテスト技法の特徴と適用方法を習得する。 ◇ケーススタディを通し単体テスト、結合テスト、総合テストのテスト設計書に記述すべきテストケースについて習得する。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)山口 新吾 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
02j	7/5～7/7	開発	データベースの基礎と性能分析、対処方法	FLM	古賀章司	製品に特化しないデータベースの特徴やデータベース管理システムの機能など、データベース全般の基本知識とリレーショナルデータベースの操作言語であるSQLの基本文法を学習します。実習では、実際にSQLを使用し、表の作成から、表の操作(データの検索、追加、更新、削除)、表の削除までの一連の操作を行います。また、データベースサーバーの性能分析の方法と対処方法について、製品依存しない一般的な知識を講義と実習を通して学習します。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FLM） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
03j	7/12～7/14	開発	品質確保のためのレビューテスト技術～基本技術からユーザ視点の受入・移行の留意点まで～	FLM	谷川直仁	プログラムの品質を確保するためのレビューとテストの基本的な技術（レビューの進め方、テスト技法）について、講義と演習を通じて学習します。演習はグループ形式でレビューやテスト技法の確認・テスト項目抽出・品質評価などを行い、講義内容の理解を深めます。また、ユーザ視点に基づいて、発注したシステムを適切に受け入れ、スムーズに移行していくためのポイントも、講義および演習で学習します。システムテストやユーザー受け入れテストの目的、テストの観点、評価方法、移行の作業内容など、テストの重要性や作業内容について、ベンダー・ユーザの両方の視点から学習します。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FLM） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
04s	7/26～7/28	ヒューマンスキル	デジタル（DX）時代の事例から学ぶビジネス価値提案	FSC	大橋知子	デジタル時代において、プロジェクト以前にビジネスモデルから変革することが求められる時代に、顧客（ユーザ部門）とともに、新しいビジネスモデルを構想することをITのエンジニアたちにも求められています。 働き方改革が、なかなか「改善」の域から出られないように、本質的な課題に向き合う必要があります。 そうしたビジネスモデルの価値を考えることから、ビジネスの本質に迫る発想と、見える化するスキルを習得するコースです。 ※PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を21時間支給します。 　また、本講座はＰＭＩの「新ＣＣＲプログラム」に対応しています。 　教育サブ・カテゴリー：Ways of Working　5.0 Power Skills 6.0 Business Acumen 10.0	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)大橋知子 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
05s	8/2～8/4	ヒューマンスキル	IT技術者のためのシステム・シンキング	FSC	水野輝彦	「問題がたくさんあり、どこから手をつけてよいのかわからない」、「今まで成功してきたやり方では、うまくいかなくなってしまった」、「解決したはずなのに、繰り返し起こってしまう」・・ 従来の分析的問題解決手法では解決できないような複雑な問題が多く発生する現在。そんな複雑な問題をより大きな視野で見据え、腰を据えて取り組み、根本的な解決を実現する手法『システムシンキング』を3日間で学習します。	3	21	14	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)水野輝彦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
06s	8/23～8/25	開発	ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ～最新動向と対策の基本～	FSC	山田篤彦	ネットワーク技術者が知っているべきネットワーク基礎知識とセキュリティ基礎知識を実機を使いながら学習します。 IP／TCP／UDPなどネットワーク基礎知識、暗号技術／認証技術に関する基本から認証局までネットワークを利用する上で押さえておかなければならない知識を演習を通して身につけます。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山田篤彦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
07j	8/30～9/1	開発	C#によるVisual Studioを使用したWebアプリの開発(.NETCore+MVC基礎編)	FLM	古賀章司	Visual Studioの機能や操作方法、ASP.NET Core MVCアプリケーションの作成方法を説明と実習によって学習します。実習では、ASP.NET Core MVCアプリケーションによるオンラインショッピングのWebサイトを構築します。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FLM） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
08s	9/6～9/8	ヒューマンスキル	Python & Excelで業務活用研修	FSC	山田篤彦	Excelは、慣れていない人でも容易にデータ入力や閲覧ができる優れたユーザーインターフェース（UI）を持っています。この優れたExcelのUIをPythonと組み合わせることにより、さまざまな業務を簡素化したり自動化することができます。 この研修はエンジニア職以外の方を対象として、Pythonの簡単な文法の習得から、PythonからExcelを活用する方法を学び、さらにWordやPDF、メールシステムと連携、開発したプログラムを他のPCに配布する方法までを学習します。 DX時代に求められるデジタル人材としてのスキルアップ研修です。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山田篤彦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
09a	9/20～9/22	開発	データベース設計とデータモデリング	AES	矢田 治郎	データベース構築に当たって、データのモデル化手法としてＥＲＤがあります。そのモデル化技法からアプリケーション開発で検討すべきＤＢＭＳ機能までを、DDL（ＳＱＬ）によるデータベース・オブジェクト作成およびデータベースのリファクタリングの概説を含めて、設計スキルを習得することを目標としています。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
10s	9/27～9/29	セキュリティー	ファイアウォールで学ぶネットワークセキュリティ～リモートワーク時代のセキュリティ～	FSC	山田篤彦	リモートワークを導入することによって企業のネットワークセキュリティは脅威と脆弱性の見直しが必要となります。この研修ではファイアウォールを中心として、さまざまなネットワークサービスのセキュリティ課題とその対策技術を学習します。 ファイアウォールのルール設計の演習によりセキュリティ設計の知識を身につけ、実機を設定する演習によりネットワークとセキュリティのスキルを高めます。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山田篤彦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
11s	10/11～10/13	ヒューマンスキル	IT技術者のためのリーダーシップ～「部下育成」、「動機づけ」、「ビジョン提示」について学ぶ～	FSC	田渕真理子	IT人財に必要不可欠な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。 実際の事例を使った様々なロールプレイ、ディスカッション等により参加者の方々と交流でき、コンピテンシー(高業績者の行動特性)を学びあうことができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)田渕真理子 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
12a	10/18～10/20	ヒューマンスキル	ソフトウェア開発者のための対人対応力強化講座 コミュニケーション向上コース	AES	矢田 治郎	現場におけるコミュニケーションの本質を理解し、お客様への対応能力の強化を目標としています。 １．一方的な伝達やコミュニケーションとの違いを知る。 ２．人から人への言葉の伝わり方を意識し、自己表現力・発表力を向上する。 ３．「聴く」「伝える」ことの本質を知る。 ４．ロジカル・ネゴシエーションの基本を知る。 以上のこと理解し、対人適応力の向上を図ります。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)矢田 治郎 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名

FLM	㈱富士通ﾗｰﾆﾝｸﾞﾒﾃﾞｨｱ
FSC	㈱福岡ソフトウェアセンター
AES	麻生教育サービス㈱

講座No.	開講予定日(3日間)	分類	講座名	講師会社	講師名	概　要	日数	時間	定員	受講費（注1）※助成金制度を利用された場合の助成金支給額		研修会場	訓練実施場所の決定、開催中止等の連絡（原則、4名以上で開講）
							日	Hr	人	受講費（円）	助成金支給額（注3)[※目安]	(注2)	申込状況・開催状況 訓練実施場所 （2023年4月1日時点）
13a	10/25～10/27	プロジェクトマネジメント	ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント	AES	山口 新吾	プロジェクトを遂行する上で、どうすれば品質を担保し、客先に対して品質が高いということを説得することができるかをケーススタディを通して習得することを目標としています。 1.ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性、2.ソフトウェア品質とは、3.ソフトウェア品質管理の全体像、4.品質計画（レビュー計画、テスト計画、品質目標値の設定フレームワーク、品質データ収集）、5.品質保証（品質保証体系、レビュー留意点、テスト技法、テスト網羅性の観点）、6.品質管理（品質分析概要、レビュー密度、テスト密度／バグ密度）、7.品質管理（ゾーン分析、バグ管理曲線）、8.品質改善活動（改善活動の２つのアプローチ、改善サイクルの構築）	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)山口 新吾 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
14s	11/8～11/10	ヒューマンスキル	IT技術者のためのコミュニケーション研修～「論理と直感」で「伝わる」意思疎通の技法～	FSC	田渕真理子	IT技術者に必要不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル等のスキルを理論と実践を通じて身につけるコミュニケーション研修です。 各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)田渕真理子 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
15s	11/15～11/17	開発	Python プログラミング応用	FSC	山田篤彦	Python3言語をより高度に使いこなすための以下の知識を習得します。 ①オブジェクト指向プログラミングに関する基礎知識とPythonのクラス関連機能 ②正規表現によるデータ操作 ③SQLとPythonからDB操作 ④Tkinterを使いGUIプログラム作成 ⑤Webアプリケーションの基礎とフレームワーク（flask）によるプログラム作成	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山田篤彦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
16s	11/29～12/1	ヒューマンスキル	信頼されるSEに求められる問題解決力～なぜなぜから始める問題解決～	FSC	國分宏悦	某自動車メーカーで使われる問題解決のスキル、すなわち、問題発見、真因追求、解決策立案のスキルとそれらをA3一枚にまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルを理論と実践を通じて身につけます。 問題解決でも、“モノ”の問題と“人や組織”の問題では扱い方が違います。本研修ではIT現場に多い人や組織の問題を主として扱います。 参加者自身の問題・課題を扱いながらグループディスカッションを繰り返すことによりファシリテーション能力を向上させるとともに、他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)國分宏悦 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
17j	12/7～12/8	開発	アプリケーションテスト 実践トレーニング	FLM	谷川直仁	システムに求められる品質を保証するために、確実で効果的なテストの方法を学習します。結合テスト、総合テストを中心にテスト項目抽出のポイントや妥当性の判断について講義と演習によって学習します。	2	14	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FLM） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
18a	12/13～12/15	開発	ソフトウェア開発のためのモデリングとUI設計	AES	矢田 治郎	ソフトウェア開発においてユーザニーズを捉えたシステムを構築することが必須です。そのためには、要求を把握し要件を定義することと設計段階においてのUI（ユーザインタフェース）設計が重要となります。本講座では、分析／設計におけるモデリングとUI（ユーザインタフェース）に主眼に置き、対象業務とそのシステム化方式を如何にするかの実践ポイントを習得することを目標としています。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)矢田 治郎 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
19j	12/20～12/22	開発	IoT時代の無線LAN～構築からトラブル防止とトラブルシューティング～	FLM	後藤秀兵	無線LANの基礎知識、設計のポイント、運用管理方法と併せて、IoT時代の新たな無線ネットワーク技術の概要について学習します。実習では、富士通製アクセスポイントを用いて無線LANシステムを構築し、基本構成の構築に加え、セキュリティ対策、信頼性向上、運用管理のための機能を実機操作を通じて学びます。また、十分な品質を確保するために欠かせない無線LANのトラブル対策について学習します。事例をもとに、トラブルを未然に防ぐ方法と、万が一トラブルが発生した際のトラブルシューティング方法も学習します。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FLM） ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
20a	1/17～1/19	プロジェクトマネジメント	プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～	AES	山口 新吾	若手からベテランまで、すべてのメンバが、協力し合って創発的に成果を出し、このチームでもう一度働いてみたいと思わせるようなチーム作りの方法を習得することを目標としています。 1.プロジェクトの現場を取り巻く環境、2.注目される「現場力」、3.成功するプロジェクトを増やすには、4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル、5.現場力向上に役立つ理論～モチベーション編～、6.現場力向上に役立つ理論～コミュニケーション編～、7.現場力向上に役立つ理論～リーダシップ編～、8.現場力向上の実践	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)山口 新吾 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
21s	1/31～2/2	ヒューマンスキル	IT技術者のためのドキュメンテーション研修～誤解なく伝えるためのドキュメンテーション研修～	FSC	田渕真理子	IT技術者に必要不可欠な文書表現、ドキュメント作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。 ドキュメンテーション実習を個人ワークのみならずグループワークで実施することにより、参加者の方々と交流しながら、楽しく身に付けることができます。 講師、他者と様々なフィードバックにより自己のドキュメントの欠点が把握でき、改善の方策を自ら見いだしていける内容です。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)田渕真理子 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
22s	2/7～2/9	ヒューマンスキル	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～	FSC	山崎有生	成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『リスク・マネジメント』を取り上げます。 実例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。 また研修参加者にはファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。 グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち21時間分を取得できます。（カテゴリB ）	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山崎有生 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
23a	2/14～2/16	ヒューマンスキル	エンジニアのスキルを徹底活用するための書き方・話し方	AES	青木 克頼	エンジニアは技術についての専門家であり、特にITエンジニアはその業務遂行のためにも、日々情報収集や自己学習を重ねています。しかし、これらの知見を他者に伝える技術を兼ね備えたエンジニアは不足しています。エンジニアにこそ、文章能力が必要です。本講座では、エンジニアの考え、プロジェクトの進行状況、技術的な見解の表明など、エンジニアでないと的確な分析ができないことを文章に表現する技能、及びその話し方について、実践的な演習を通して習得することを目標としています。エンジニアが持つ高い技術力を、より一層活用できるようにするチャンスです。他では扱いのないオリジナリティの高い内容です。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （AES)青木 克頼 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
24s	2/28～3/1	ヒューマンスキル	失敗しないプロジェクトのための段取り力～プロジェクトの立上げと計画立案のために～	FSC	山崎有生	成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。 プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードであるPMBOKも参考にしつつITプロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネジャとしての基本を学びます。 同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち21時間分を取得できます。（カテゴリB ） また、2020年に変更される予定のPMBOK第7版にも触れていきます。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)山崎有生 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名
25s	3/13～3/15	ヒューマンスキル	ヒトを動かす提案書・企画書作成のための図解手法	FSC	宿澤直正	ヒトを動かす道具として、提案書・企画書は社内社外を問わず、様々なビジネスシーンに必要となります。 ヒトを動かすには、分かりやすいストーリーと、それを表現した図解が効果的です。相手に納得してもらうストーリの作り方、論理的な情報整理とその図解の表現の仕方を学び、提案書・企画書作成スキルの向上を目指します。	3	21	16	受講料78,800 +教材料5,000 =83,800 （税別）	①35,500 ②51,400 ③57,300 ④75,400	N	・開催予定 ・講師 （FSC)宿澤直正 ・場所:NISA研修室 ・申込数（　）名